

事務事業評価シート1-1

は、プルダウンメニューから選択

事務事業No. 11 - 6

事業分類		<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 必需		公的関与		8		作成日		27年 4月 28日		
事務事業名		花いっぱい運動事業						シート作成部署				
総合計画上の位置付け	基本施策	4 快適なまち						課名	建設課		係名	都市計画係
		4-2 良好な生活環境のまちをつくる							シート作成者			
	施策	4-2-1 環境衛生対策の推進						予算費目	会計		一般	
									款		8	
主要施策	② 花いっぱい運動の推進						項		4			
							目		3			
個別計画名												
住民との関わり		住民の自主活動に対する支援（「場」の提供、資金援助、情報提供）										
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）				目的（どういう状態にしたいのか）							
	住民、事業所、公共施設				花いっぱい運動事業を推進し、緑と花のあるまちづくりを行ない、東員町の良好な景観を形成する。							
事業内容（どのような方法で、何を行うのか）		町内の花苗育成の希望団体に花苗と肥料の配布申請、配布希望日申請をしてもらい、申請があった団体に対し、花苗と肥料を配布する。										
事業期間		昭和 <input type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 年度		～		平成 年度		（ 年間）		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし		
根拠法令・要綱等												
		平成25年度（決算）			平成26年度（決算）			平成27年度（予算）				
全体事業費（千円）A+B		6,404			7,043			7,059				
財源内訳	国庫支出金		0			0			0			
	県支出金		0			0			0			
	地方債		0			0			0			
	その他特定財源		0			0			0			
一般財源		5,348			5,657			5,673				
直接事業費（千円）A		5,348			5,657			5,673				
人件費（千円）B		1,056			1,386			1,386				
内訳	一般職員（人・千円）		0.16 人 1,056		0.21 人 1,386		0.21 人 1,386					
	臨時職員（人・千円）		人 0		人 0		人 0					
成果指標	成果指標名				単位	26年度		27年度	28年度			
						目標	実績	（目標）	（目標）			
	①	ボランティア団体数			団体	42	42	38				
	②	花苗植栽面積			㎡	4,000	4,082	3,800				
③												
説明	配布を希望する団体会員の高齢化に伴い、前年度実績を下回る成果指標（目標）として設定した。											

事業名	花いっぱい運動事業	シート作成課	建設課
-----	-----------	--------	-----

一次評価者	建設課長	二次評価者	建設部長
-------	------	-------	------

評価項目の説明	チェック項目		一次の評価又は説明	
	一次	二次		
必要性	1. 事業開始時の目的を概ね達成するなど実施意義が低下している。 2. 社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化してきている。 3. 利用者、対象者の減少など住民ニーズの低下傾向がみられる。 4. 住民ニーズを上回るサービス提供となっている。 5. 国や他市町と比較するとサービスの対象や水準を見直す余地がある。 6. 国や県のサービスと重複している。 7. 民間のサービスと競合している。 8. 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	緑と花に対する意識は高まっており、本事業はとても重要ですが、実施主体等を財政状況等を考慮し見直す必要があります。
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。 2. 施策への貢献度が著しく高いとはいえない。 3. 施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。 4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	緑と花のあるまちづくり事業の推進により町民、地域の環境意識、美化意識の向上に繋がっているが、反面、財政面や協力団体の後継者問題もあり、今後、検討する必要があります。
達成度	1. 事業開始時の目標設定に比べて進捗状況が劣っていると思う。 2. 事業開始時の目標に比べて成果があまり上がっていないと思う。 3. 概ね目標を達成していると思う。 4. 十分に目標を達成していると思う。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	学校等に毎年一定量の花苗を配布しており、環境等に対する意識付けに一定の成果が得られています。
効率性	1. 効果に比べてコストが高い（他市町や類似業務を行う民間に比べて）。 2. 現在の事業実施主体の他に効率的に事業を実施できる主体がある。 3. 他の実施主体のノウハウを活用できる。 4. 他の実施主体を活用しても公平性・公正性等が担保され、行政責任が問われない。 5. 事業実施している人員、手段等の見直しによりコスト削減の余地がある。 6. 電子化等の事務改善によりコスト削減の余地がある。 7. 契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	コスト削減を実現していくため、実施主体等を総合的に検討します。

本事務事業の実施適切性の説明

花いっぱい運動事業は、緑と花のあるまちづくりを推進するために大切な事業です。また、花を育てることで豊かな心を育成することもできます。

一次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		3	4	3	3	^⑧ B	⁷ ⁶ A
	今後の方針	休・廃止		見直し	継続	拡大	
今後の改革・改善目標	現在町主体で行っていますが、地域住民による管理意識の向上を図ります。						

二次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		3	4	3	3	^⑧ B	⁷ ⁶ A
	今後の方針	休・廃止		見直し	継続	拡大	
コメント	住民主体による花いっぱい運動事業へと転換ができるよう意識の高揚を図る必要があります。						

二次評価に対する課の考え方							
---------------	--	--	--	--	--	--	--

参画協働の今後の方針	いつから	平成	年度から	1	現在の手段を継続する		
------------	------	----	------	---	------------	--	--